

【企業・団体名】 鹿児島市

代表者 : 市長 森 博幸

事業内容 : 行政

所在地 : 鹿児島市山下町11-1

従業員数 : 5,604 名(男性 3,704 名、女性 1,900 名) (平成31年4月1日現在)

イクボス宣言をしている場合、宣言者とその年月日: 市長 森 博幸/ 平成29年11月8日

【会社の取り組み】

○「第二次鹿児島市職員子育て支援行動計画」を策定し、仕事と子育ての両立の推進が図られるよう、取り組みを進めている。

【育児休業等】

・育児休業…子が3歳に達するまで

・部分休業…子が小学校就学の始期に達するまで。1日2時間(30分単位)

【休暇制度】

・妻の出産補助及び育児参加のための特別休暇

…妻の出産にかかる入院の付添い等や妻の産前産後期間中に、当該出産に係る子または小学校就学の始期に達するまでの子を養育する場合、当該期間内に7日間

・子の看護休暇…1年度に子1人につき5日、2人以上で10日(1日または1時間単位)

・介護休暇…通算して6月の期間内(3回以下)

○各職場において、ワークライフバランス促進のための取り組み目標を設定し、取り組んでいる。

・週1回、ノー残業デーの実施

・年次休暇および夏季休暇の取得促進

・時間外勤務の縮減

・時差出勤の活用

【これまでの実績】

・育児休業取得率 男性23.3% 女性100%(令和元年度、市長事務部局・教育委員会)

・男性の配偶者出産休暇等取得率 90%(令和元年度、市長事務部局・教育委員会)

・超過勤務の状況 1人1月あたり平均15.1時間(令和元年度、市長事務部局・教育委員会)

・年次休暇の平均取得日数 12.2日(令和元年度、市長事務部局・教育委員会)

【社員の声】

・育休を取得することについて、妻や両親が、とても喜んでくれた。職場においても、所属長が快く制度利用を勧めてくれたことが有難かった。職場の応援体制も十分で、「取得しにくい」といった雰囲気はなかった。(男性)

・子どもが生まれてから1歳になるまで、毎日が成長の連続で、一番近くで日々の成長を見守ることができた時間はとても幸せだった。(女性)

・育休を取得したことで、仕事への取り組み方が変わり、時間内でどうすれば業務が終わるのか考えて仕事をするなど、効率的な仕事をするを常に意識するようになった。(女性)

【今後の取り組み・目標】

令和6年度までの目標値

・育児休業の取得率: 男性20%、女性100%

・子どもが生まれた男性職員の「出産補助及び育児参加のための特別休暇」の取得率: 100%

・時間外勤務時間が月45時間を超えた職員数: 平成27～令和元年度の平均に比べて10%の減少

・年次休暇の平均取得日数: 平成27～令和元年度の平均に比べて10%の増加

・年次休暇を年5日以上取得した職員の割合: 100%